

ぶちか

議会だより

第111号 2020.3.8



卒業レポート発表を終えて 笑顔で



～町制80周年記念号～

contents

高校生卒業レポート発表・・・・・・・・・・2～

小値賀町町制施行 80 周年を祝う・・・6～

議会も共に歩んでいます・・・・・・・・・・10～

ふるさと寄附金増える（補正予算）・・・・・・15

令和元年度北松西高校 3 年生 卒業レポート発表会



令和元年 12 月 19 日、昨年度に引き続き、北松西高校 3 年生の卒業レポート発表会が行われました。

小(知る)中(問う)高(提案する)一貫教育の最終ゴールとして、ふるさと小値賀町が抱える課題の現状と背景をフィールドワークを通じて分析し、解決策を提案しました。

未来が持続可能であるために、何が必要か、より深く考え、熱く語るための取り組みとしての「町議会・町行政への提案」です。

本物の議員に対し、実際の議場で生徒全員が発表する貴重な体験です。



議場全体が注目する中での発表です



「藻場を取り戻すために
くならず者を
小値賀の名物に」

環境班
筒井尚史さん
藤松義匡さん
門田秀英さん
村田康成さん



研究動機は

漁協や役場でのインタビュを通して、イスズミによる食害が小値賀で発生している磯焼けの大きな原因ではないかと考えた。

また、ウニによる食害も磯焼けに影響していると考えた。

そこで、本研究では、イスズミとウニによる食害を抑えることで、藻場の回復につながるのではないかと考えた。

提案します

①イスズミの個体数を減らすために、釣りや漁をしてもらうように促す。

それには、臭いの強いイスズミが「おいしい魚」であることをアピールする必要があります。

下処理方法を解説するパンフレットの配布や加工品の開発などをするこ
とで、島民の消費が促進されれば捕獲量が増え、食害の抑制につながる。

②ウニの個体数を減らすために、身が痩せているウニを捕獲し、養殖場を作り、養殖してブランド化する。

ここが聞きたい

問 養殖場はどのようなイメージを持っているか。カゴに入れて海で養殖する実験は波が荒くて失敗したことがあるのだろうか。

答 陸上に養殖する施設を新しくつくることを考えています。

問 捕獲したウニと交換するのか。具体的な量や数字のイメージはあるか。規模やコストを考えるとほしい。

答 個数に応じて交換したいと思います。



研究動機は

小値賀には、落花生以外にも多くの食材があることを島外の人にも知って欲しい。

また、発信力の弱さも問題点として考えた。そのため、他の離島にはないユニークな取り組みを行うことができれば、島の認知度をさらに向上させることができるのではないかと考えた。

提案します

① トマト、ブロッコリー、ショウガをそれぞれ使ったアイスクリームの試作と開発をおこなった結果、どれも実現可能という結論に至った。

問 とてもおいしかった。試作品をつくって配布した発表はとても良かった。

アイスクリームよりジエラートの方が、法的なハードルが低いのではないか。

答 検討してみます。

ここが聞きたい



② 「ビーチマナー」とは、例えば海岸で拾ったビーチグラス（シーグラス）を店に持っていくとお金として使えるシステムである。

ビーチグラスを持参すれば、ビーチマナーとして取り扱う店舗でアイスクリーム割引などのサービスを受けられる。



試食用のアイスが配られました



「民泊を中心とした

持続可能な観光プラン

「世界から小値賀へ」

観光班

升水遥平さん

松永海千郎さん

護山義孝さん

崎山富公衛さん

村中夏美さん

研究動機は

小値賀では、観光客数は伸びてきているが、今後を考えると、国内だけでなく、外国人観光客に焦点を当てることも考えなければならぬ。

また、民泊体験が観光の一角を担っているが、日中も観光客のお世話が必要なことから、仕事や子育てに追われる若い世代の新たな担い手を確保することが厳しくなっている。

その結果、民泊民家の高齢化が進み、民泊民家は減少、このままでは小値賀ならではの体験型観光を提供できなくなる可能性もある。

そこで、島全体で小値賀の観光を支え、一部に偏ることのない持続可能な観光プランを提案したいと考えた。

提案します

①若い世代でも民泊に挑戦できるような、負担を減らす必要がある。

そこで、日中に体験活動を提供できる町民を募集した「体験活動人材バンク」を設立する。

②外国人学生に小値賀を訪れてもらうことが海外にアピールする方法と考え、「高校生架け橋プロジェクト」を誘致する。

③訪日前の旅行情報源として、個人の英語のブログを利用する外国人が多いことが分かった。

そこで、高校生が「英語でブログ発信」を行う。

ここが聞きたい

問 体験人材バンクは実現性と必要性が高い。高校生架け橋プロジェクトは町の負担はいくらか。
答 調査して後日お答えします。

問 小値賀の情報以前に、まずは高校のことを英語にしているのか。

答 とても良いアイデアなので実行していきたいと思っています。

問 後輩に託すのではなく、自分たちで始めては。
答 まずはやってみようと思います。

すぐに実行！



長崎県立北松西高等学校 公式ツイッター

【公式】長崎県立北松西高等学校
Hokushounishi Highschool (@ojikahighschool)



英語で小値賀の魅力を発信中！



<https://twitter.com/ojikahighschool?s=03>

記念式典 開かれる



多くの人の尽力で今の小値賀町が

令和2年2月11日、「小値賀村」が「小値賀町」
になってちょうど80年。
その節目を祝うセレモニーが、2月15日、離島
開発総合センター町民ホールで開かれ、町に大
きく功績のあった16名が功労賞を受賞しました。



消防功労



地方自治功労



教育文化功労



産業功労



特別功労



社会福祉功労

合併の是非を問うた住民投票から15年経ちます
が、人口減少に歯止めはかからず、厳しい時代が
続いています。
この先90周年、百周年と再びお祝いができるよ
う、町民一人ひとりが危機意識を持ち、一丸となっ
て明るい小値賀町を創っていきましょう。

未来の小値賀町は私たちの手で！

小値賀町町制施行 80 周年



議事録から見える「村」から「町」へ

小値賀町議会アドバイザー

新潟県立大学准教授

田口一博

寄稿



3村が合併し小値賀村に
94年前の大正15年4月
1日、旧笛吹・前方・柳

の3つの村が合併して小
値賀村が誕生しました。
大正15年は12月25日に改
元されて昭和元年となり
ます。

そして15年後の昭和15
年2月11日、小値賀村に
町制が施行され、令和2
年で80年になります。

小値賀町制施行80周
年、おめでとうございます。

小値賀村の発足につい
て、昭和53年に発刊され
た『小値賀町郷土誌』で
は長崎県北松浦郡との往
復文書をもとに、県庁の
北松浦郡長の勧めがあっ
たことが書かれています
が、小値賀側の理由につ
いてはあまり書かれてい
ません。

旧3村の議会でどのよ
うな議論が行われたのか
を小値賀町議会に残され
ている記録を読むと、次
のようなことがわかりま
す。

小学校の維持が大変！

明治5年に現在の小学
校をつくる「学制」とい
う法律ができ、小値賀の
各村にも順次学校がつく
られました。

小値賀では比較的早く
学校をつくりましたが、
財政事情が悪かったり、

先生が見つけられない村
などではなかなか進めら
れず、つくっても学校の
維持費の負担は大変だっ
たのです。

大正時代の終わりに3
村の合併が考えられたの
は、学校をつくってから
50年経ち、校舎を建て直
さなければならぬこと
や先生のお給料が大きな
問題だったから。
合併は小値賀島内の3
村がそれぞれに持ってい
た学校も一つにして校舎

を新築することが目的だ
ったようです。
そして町制を施行する
際の理由書にも、村では
優秀な先生が小値賀への
赴任を希望してくれない
こともある、というよう
なことも書かれています。
では、町制が施行され
た昭和15年はどんな年だ
ったのでしょうか。



昭和15年生まれの有名人

加藤一二三	1月	1日
竜雷太	1月	21日
デヴィ夫人	2月	6日
唐十郎	2月	11日
小野ヤスシ	2月	11日
鳥越俊太郎	3月	13日
王貞治	5月	20日
立花隆	5月	28日
張本勲	6月	19日
ジェリー藤尾	6月	26日
浅丘ルリ子	7月	2日
麻生太郎	9月	20日
篠山紀信	12月	3日
露木茂	12月	6日

昭和15年はどんな年？

昭和15年は神武天皇以来の紀元二千六百年。日本で初めてのオリンピックや万国博覧会が予定されていました。

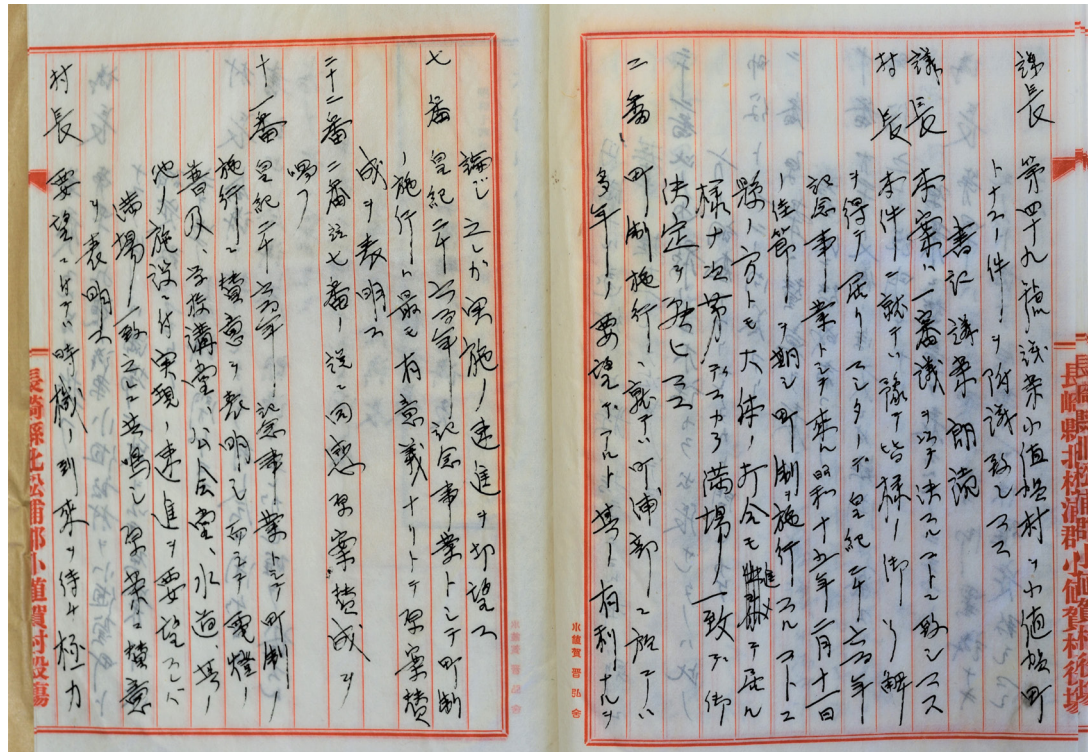
その前の昭和13年は町村制という地方自治法の前身の制度がつくられてから50年。

昭和初めの不況期からようやく脱し、海外からの観光客も増え始めた中で、の大小さまざまな記念行事もある、お祝いムードにあふれた年だったようです。

小値賀の町村施行もその一環です。

町村施行に関しては、昭和14年12月25日の小値賀村議会会議録には以下のような記録があります。

当時は村長が議長を兼ね、町村施行について審議しています。



議長（村長川口恵吉郎）

第49号議案 小値賀村を小値賀町となすの件を付議致します。

（書記議案朗読）

議長

本件は一審議を以て決することに致します。

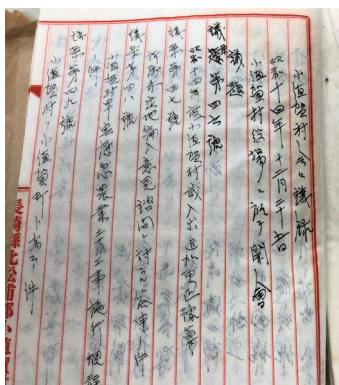
村長

本件に就いては予てより皆様のご了解を得て居りましたので、皇紀二千六百年記念事業として来たる昭和15年2月11日の佳節を期し町村制を施行することに県の方とも大体の打合せも進めて居るような次第ですから満場一致で御決定を願います。

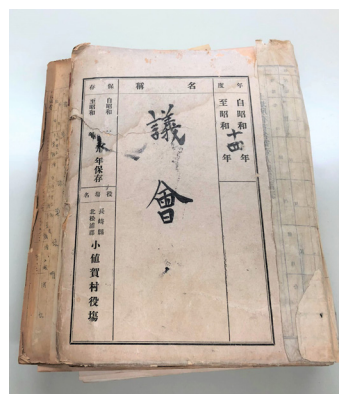
（2番浦藤兵衛、7番小西勘一、22番樋口伊七郎、11番阿部策議員から賛意が示される。）

村長

要望に付ては時機の到来を待ち極力善処する旨を誓う。



当日4番目の議題でした



昭和14年度の表紙



年度ごとに会議記録が残っています

明治時代の議会の記録も

小値賀町議会の書庫には、大正15年の合併以降、今日に至るまでの議案・会議録だけでなく、旧3村議会の記録が保存されています。

現在残されている旧村議会の記録では笛吹村関係のページ数が多いのですが、これは地方自治法の前身である町村制が施行された明治22年までは各村単独の議会だけでなく、3つの村が合同しての「聯合村会」を行ってましたからです。

古いものでは140年を経た、和紙に墨で書かれた時代からの記録が議会に保存されていることは、全国的にも誇れることです。



旧柳村会
明治17年から約40冊
約6千ページ



旧笛吹村会
明治12年から約70冊
約1万3千ページ



旧前方村会
明治12年から約80冊
約8千ページ

いったい、いつ、誰が
と思える王位石や石室古
墳もある小値賀。海上交
通の要衝、漁業の基地と
して栄えてきました。
学校や議会も早い時期
に始められたのは財政力
だけではありません。文
化と人がしっかりと育ま
れていたからでしょう。
小値賀が町村制を施行
したあとも、町村制がそ
も施行されていない離
島もあつたことを考え
ると、明治初期から法
律に先駆けて議会の置
き、そこで議論を行っ
てきた輝かしい歴史は
、もっともつと町民
の方々に知っていただ
きたいことだと思います。
現在の小値賀には厳
しい状況もありますが、
これまでの長い歴史
の中で見れば一瞬と
も言えることと。町
制施行80周年とい
う節目にこれまでを
振り返り、6年後の
合併・誕生百周年に
向けて未来を考
える年になればと思
います。

田口先生 小値賀の議会を語る



膨大な資料を地道な努力で

明治期発足以来の地方
議会の運営を研究して
います。議会の会議の
記録や議案は永年保
存されることになっ
ていますが、災害や
合併などで失われ
てしまうこともあり、
町村議会できちん
と残されているこ
とは実際には多
くないようです。
ところが小値賀
では明治初期から
の記録がしつかり
に残されており、
これまで4度にわ
たり調査をさせて
いただきました。
明治から昭和戦前
までの記録を読む
と、当時の議会が
いきいきと議論

してきたことが伺わ
れます。

現代の小値賀町議
会では全国でも屈
指の活躍をしている
議会として知られ
ています。

近年の議員諸氏の
ため、まぬ努力もあ
りますが、太古から
海に開かれた町で
話し合うことが大
事にされてきた文
化、鎖国をしたこ
とがない長崎の歴
史や、明治初期か
ら上質の和紙を用
い、議会の記録を
書き残せる人がい
たことなども背景
にあると思います。

祝！町制 80 周年

議会も共に歩んでいます

歴代の議長と副議長

小値賀村が小値賀町になった昭和 15 年頃は、有権者（男性のみ）から、町村会の議員の候補者を募る選挙が行われていました。

その当時の町村会の議長は町村長が兼ねていましたが、昭和 21 年から、議長と副議長は議員の中から互選されることになりました。

翌年、日本国憲法と地方自治法が施行され、町長と議員を住民が直接選ぶ現在の形での選挙が行われるようになりました。



第20代 江川六一郎



第19代 薩摩兼光



第22代 近藤一輝



第21代 川村章雄



第23・26代 横山弘藏



第24・25代 立石隆教

歴代	任期 初年	議員 定数	議長	副議長
初 代	昭和 21 年	26	小西勘一	津田嘉兵衛
第 2 代	昭和 22 年	〃	梶野貫三	山口與右エ門
第 3 代	昭和 24 年	〃	阿部 策	山口與右エ門
第 4 代	昭和 26 年	〃	阿部 策	古川兵一
第 5 代	昭和 30 年	22	田中松太郎	吉元寛一
第 6 代	昭和 32 年	20	塩屋甚蔵	山田兵市
第 7 代	昭和 34 年	18	古川兵一	貝屋吉重
第 8 代	昭和 36 年	〃	吉元寛一	坂井更三
第 9 代	昭和 38 年	〃	塩屋甚蔵	近藤兵衛
第 10 代	昭和 40 年	〃	田口七夫	増田虎男
第 11 代	昭和 42 年	〃	古川兵一	坂井清浩
第 12 代	昭和 46 年	16	貝屋吉重	田口七夫
第 13 代	昭和 50 年	〃	田口七夫	中村與作
第 14 代	昭和 52 年	〃	中村與作	津田育佑
第 15 代	昭和 54 年	〃	津田育佑	前田米蔵
第 16 代	昭和 58 年	〃	津田育佑	田口東一
第 17 代	昭和 62 年	14	筒井傳治	西口芳雄
第 18 代	昭和 62 年	〃	田口東一	西口芳雄
第 19 代	平成 3 年	〃	薩摩兼光	島田伊勢松
第 20 代	平成 7 年	〃	江川六一郎	川村章雄
第 21 代	平成 11 年	〃	川村章雄	柳山長人
第 22 代	平成 15 年	12	近藤一輝	黒崎政美
第 23 代	平成 19 年	10	横山弘藏	松永勇治
第 24 代	平成 23 年	〃	立石隆教	伊藤忠之
第 25 代	平成 27 年	8	立石隆教	宮崎良保
第 26 代	平成 31 年	〃	横山弘藏	今田光弘

常任委員会と特別委員会の歴史

常任委員会は、その部門に属する町の事務に関する調査を行い、議案、請願などを審査します。議員はどれか一つ以上の常任委員会に入らなければなりません。

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項のほか、議会の会議規則や議長の諮問に関する事項の調査を行い、議案、請願などを審査します。

特別委員会は、議会の議決により付議された特定の案件を審査します。

常任委員会の歩み

- 昭和 34 年 委員会制度始まる 「総務」・「教育民生」・「土木経済」の 3 つでスタート
- 昭和 54 年 「総務」・「文教厚生」・「産業建設」に名称変更
- 昭和 62 年 「総務文教厚生」・「産業建設」の 2 つに統合して現在に至る
- 平成 3 年 「議会運営委員会」スタート
- 平成 19 年 広報調査特別委員会が「広報常任委員会」に

特別委員会の歩み

- 平成 5 年 特別委員会制度始まる
「議会だより編集委員会」(～平成 11 年)・「航路対策特別委員会」(～平成 11 年)
- 平成 9 年 「下水道事業調査特別委員会」(～平成 13 年)
- 平成 11 年 「交通問題対策調査特別委員会」(～平成 17 年)・「広報調査特別委員会」
(～平成 19 年)
- 平成 13 年 「岐路に立つ小値賀を考える特別委員会」(～平成 14 年)
- 平成 14 年 「地域活性化策調査特別委員会」(平成 15 年)
- 平成 16 年 「小値賀が佐世保市・宇久町と合併することの意思を問う住民投票条例制定特別
委員会」・「議会運営に関する倫理特別委員会」・「議会あり方検討特別委員会」
(～平成 17 年)
- 平成 17 年 「予算特別委員会」(～現在)・「決算特別委員会」(～現在)
- 平成 25 年 「藻場再生調査特別委員会」(～平成 27 年)・「町税等の滞納に関する調査特別
委員会」(～平成 26 年)
- 平成 26 年 「国境離島活性化推進特別委員会」(～平成 29 年)
- 平成 27 年 「地方創生まちづくり特別委員会」(～平成 29 年)



決算特別委員会のような

名 称	総務文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	議会運営委員会	広報常任委員会
委員長	宮崎良保	松屋治郎	近藤隆二郎	今田光弘
副委員長	近藤隆二郎	浦英明	松屋治郎	近藤隆二郎
委 員	末永一朗	末永一朗	宮崎良保	宮崎良保
〃	黒崎政美	黒崎政美	浦英明	黒崎政美
〃	今田光弘	今田光弘	今田光弘	浦英明
〃	横山弘藏	横山弘藏		

現在の委員会の構成です 8 名の議員全員が委員を兼務しています

議員報酬と議会費の歩み

議員報酬の額は、各自治体の条例で自由に決めることができます。

当町議会の議員報酬の額は月額 18 万円。

平成 16 年度に、それまでの 20 万円から 2 万円減額し、現在に至っています。

なお当町議会には、以前から政務活動費の規定はありません。

(単位:円)

県内他町の議員報酬額

(令和元年度)

(単位:円)

長与町	258,000
時津町	251,000
新上五島町	230,000
川棚町	228,000
佐々町	226,000
波佐見町	215,000
東彼杵町	202,000

国勢調査に見る人口の推移

(単位:人)

大正 9 年	9,782
大正 14 年	10,110
昭和 5 年	9,852
昭和 10 年	9,478
昭和 15 年	9,144
昭和 20 年	10,753
昭和 25 年	10,968
昭和 30 年	10,912
昭和 35 年	10,276
昭和 40 年	9,126
昭和 45 年	7,552
昭和 50 年	6,374
昭和 55 年	5,684
昭和 60 年	5,101
平成 2 年	4,651
平成 7 年	4,238
平成 12 年	3,765
平成 17 年	3,268
平成 22 年	2,849
平成 27 年	2,560

令和 2 年 2 月 29 日現在

2,360 人

高齢化率 = 49.62%

年 度	議 員	副議長	議 長	議会費決算額
平成元年度	140,000	155,000	210,000	51,405,601
平成 2 年度	148,000	164,000	220,000	55,636,505
平成 3 年度	164,000	182,000	242,000	61,524,755
平成 4 年度	178,000	198,000	260,000	68,783,167
平成 5 年度	190,000	210,000	272,000	69,455,289
平成 6 年度	195,000	213,000	275,000	71,341,391
平成 7 年度	〃	〃	〃	69,128,085
平成 8 年度	200,000	219,000	283,000	69,861,571
平成 9 年度	〃	〃	〃	70,694,501
平成 10 年度	〃	〃	〃	70,216,264
平成 11 年度	〃	〃	〃	71,385,428
平成 12 年度	〃	〃	〃	73,555,793
平成 13 年度	〃	〃	〃	72,418,183
平成 14 年度	〃	〃	〃	69,969,735
平成 15 年度	〃	〃	〃	63,286,994
平成 16 年度	180,000	198,000	255,000	60,427,651
平成 17 年度	〃	〃	〃	58,791,586
平成 18 年度	〃	〃	〃	58,784,933
平成 19 年度	〃	〃	〃	54,192,036
平成 20 年度	〃	〃	〃	53,085,779
平成 21 年度	〃	〃	〃	54,680,416
平成 22 年度	〃	〃	〃	51,843,719
平成 23 年度	〃	〃	〃	66,712,948
平成 24 年度	〃	〃	〃	59,652,539
平成 25 年度	〃	〃	〃	58,461,449
平成 26 年度	〃	〃	〃	59,537,826
平成 27 年度	〃	〃	〃	58,780,424
平成 28 年度	〃	〃	〃	49,717,018
平成 29 年度	〃	〃	〃	50,492,151
平成 30 年度	〃	〃	〃	51,590,239
平成 31 年度	〃	〃	〃	—

これまでと これからも



オチカのミライとギカイとテアイと。 「シンポジウム & トークセッション」



各地区で行う「出前議会」



小値賀の未来を考える「フリートーク」



「中学生模擬議会」



「議会と語ろう会」

昨年、全国町村議会議長会の創立 70 周年事業の一環で、全国 926 町村の中から、「他の範となる特に顕著な事績を残した町村議会のうち、その取り組みが先駆けとなり、全国的に議会改革の気運を高めるに至った象徴的な団体改革先進議会」10 議会の一つとして当町議会が選ばれました。

これからもいろいろな取り組みを通じ、町民の皆さんの意見を充分に取り入れる「開かれた議会」をめざします。

補正予算

(令和元年 12月会議)

【一般会計】 補正して 39 億 3000 万円に

(主な質疑)

老朽危険家屋解体整備費用を計上

町に寄付された柳地区の旧「南邸」
有効活用できずに放置し経年劣化

問 いわば条件付きで寄付を受けた建物は他にもあるのか。

答 古民家ステイの建物になっている柳地区の「近藤邸」。

盆と正月の年に2回、

古民家ステイの客がいなければ使ってもいいという条件になっている。

問 今後、同じように条件付きの建物の寄附は受けるのか。

答 これからも、最低限の条件はつけてもいいと考えている。

問 建物が寄附されると、本来入るはずの固定資産税が入らず、管理の手間がかかり、事故が起きると町の責任になるなどリスクが増える。

よほど積極的な理由がないと寄附を受けるのはおかしいのではないか。

少なくとも明確な基準を設けるべきだ。

答 基準を設け、どういう趣旨・目的でこの建物を使うか、利用価値を精査したうえで進めていきたい。

問 解体撤去後の土地の利用方法は。

答 まず解体撤去することを優先し、砂利敷きにするかは決めているが、その後の土地利用については、関係部局と協議して決めていきたい。

議長を除いた7人の賛否が分かれました

この補正予算に賛成

近藤隆二郎議員
宮崎良保議員
黒崎政美議員
末永一郎議員
浦英明議員
今田光弘議員

この補正予算に反対

松屋治郎議員

賛成多数でこの補正
予算は可決成立



古民家ステイの旧「近藤邸」



解体撤去完了 土地利用は未定

補正予算

(令和2年1月会議)

【一般会計】 補正して 39 億 4980 万円に

(主な質疑)

ふるさと寄附金 増えて歳入増額

振興基金に積み立て 有効利用へ



小値賀町
ふるさとチョイス

問 寄附金はどれくらい増えたのか。

答 例年百万円程度だったが、昨年10月から「ふるさとチョイス」を利用してインターネットを活用した結果、最初の3か月間で302件、約1168万円の寄附があった。

問 返礼品で人気があるのは。

答 寄附額の8割以上が長崎牛、次がヒラマサの漬けだ。

問 寄附金の使途は。

答 7項目の中から選んでいただいている。一番多いのは「活力と個性のある地域づくり」で次が「小値賀町の地域振興」となっている。
来年度から意向に沿った具体的な事業を進めていきたい。



問 寄附した人に、こういう使い方をしたという報告はするのか。

答 きちんと報告するという制度作りに取り組みたい。

問 どの誰が寄附したか。小値賀との関わりなど、今後の戦略に結び付くような分析はしているか。

答 今後情報を収集し、いろいろな分析をしていきたい。

賛成全員で可決成立

※①「振興基金」

小値賀町の条例では、「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を推進するためにこの基金を設置しています。

この目的を達成するための経費の財源にあてる場合だけ、取り崩すことができます。

平成30年度末の残高は、約9億9749万円です。

【診療所特別会計】 補正して 4 億 5093 万円に

(主な質疑)

新診療所 実施設計費用を増額

町民の意見・要望を積極的に検討

問 当初予算の2千万円から、大きく1千万円増えたのはなぜか。

答 延床面積が当初より増えたことと人件費が上がっているため。

問 契約は競争入札か、随意契約か、プロポーザル方式か。

答 基本設計を行った会社と随意契約したいと考えている。

問 一般的には、随意契約だと良い仕事ができないなどデメリットがあると言われているが。

答 その会社は誠実に業務を遂行した。また、今後の作業もスムーズに進み、経費的にも少なくて済むなど、町にとってメリットが大きいと判断した。

問 診療所は町民の関心が高い。基本設計をもとに青写真を見せて意見を聴く機会は作らないのか。

答 地域住民が構成する診療所の運営協議会でまず説明し、意見を踏まえながら検討していきたい。

問 町民の要望を簡単に却下せず、積極的に、真摯に聞いてほしいと業者さんと契約するときに念を押してもらいたい。

答 契約条件の中に町民の意見を積極的に検討することを盛り込んでいきたい。

賛成全員で可決成立



3つの班ごとにわかりやすく編集されています
それぞれのページのQRコードからYouTubeへ

「北松西高生卒業レポート発表」

(表紙の写真)

「故郷小値賀町が抱える課題の現状と背景について、フィールドワークを通じて分析し、解決策を議会と町に提案することで、キャリアプランニング能力、課題対応能力を養う」ことを目的に、地域課題探求の学びとして取り組みました。

この日の様子は、地域おこし協力隊員がYouTubeにアップロードしてくれています。

おらせ

「ギカイの窓」開いています

議会では、町民の皆さんのいろいろな意見を伺い、議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。

実際にご意見が寄せられており、議会活動に活かしています。

議会に対する質問、意見、要望、相談や提言など、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場で、まずは電話かメールで、議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として、役場3階の議員控室で行います。

相談する議員は指名も可。指名がなければ、相談内容により当方で決めます。

相談内容の記録や公開は、ご希望に応じます。なお、公共の福祉に反するような個人的な要望等には対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局

メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp



小値賀町議会
Facebook

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



町制 80 周年を祝う

町制80周年、本当にめでたいことです。その歩みは波乱万丈です。議員二期目に合併の話が急に出てきました。

27年前、国や県のもぐらたたきのような状況を当時の故山田町長を先頭に、必死に乗り越えたことを昨日のこのように思い出します。町長と県の部長が口論になったこともありました。

町執行部も町議会も、日々我が町の行く末を考え、悩ましい時が過ぎていきました。

今回の式典で当時の県知事である金子参議院議員から祝辞をいただいたとき、町民とともに歩んだこの選択は間違っていなかった、と実感しました。

80周年のお祝いの言葉をとるのですが、どうしてもこのことを抜きにして、今の小値賀を語ることができません。

これからまた百年をめざして皆さんとともに新たな歴史を積み重ねたいと思います。

議長 横山弘藏